

第81号

11月号

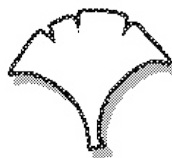
発行2004年 11月10日

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

いとしご増刊

きずな

絆



購読料1部100円

(会員は会費に含まれています)

発行人：社団法人日本自閉症協会

編集人 社団法人 日本自閉症協会 奈良県支部

支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10

TEL&FAX 0743-55-2763

URL：http://www.eonet.ne.jp/~asn/

い ま障害児・者の福祉に係わる国庫補助負担金が廃止されようとしています！
全社協より、日本自閉症協会にも緊急動員の要請が来ています。
障害福祉関係国庫補助負担金の継続を求める緊急集会
趣旨
今般、三位一体の改革に係る国庫補助負担金の廃止について、地方六団体からその対象となる内容が提案されたが、私たちも地域福祉の推進において地方分権が要であると考えます。しかし、国としての障害福祉施策の方向性や仕組み、国と地方の役割、各地域の格差や基盤整備など、重要な課題が山積する現状にあつて、我が国の障害児・者福祉の根幹に係る国庫補助負担金の廃止について強い危惧を持つものであり、障害のある人たちが並びにその家族と障害福祉に係わる関係者が一堂に会し、国、世論に対して障害福祉関係国庫補助負担金の継続を求めるため緊急集会を開催するものである。
日時 平成16年11月10日(水)午後2時～3時30分(受付午後1時)
会場 日本消防会館「ニッショーホール」

- ル」(別紙案内密参照)
東京都港区虎ノ門2の9の16
電話 03-3503-1148
主催団体 全国社会就労センター協議会、全国身体障害者施設協議会(財)日本知的障害者福祉協会、きょうさん
質問団体 (予定)(福)日本肢体不自由児協会(社)日本重症児福祉協会、全国肢体不自由児施設運営協議会、全国肢体不自由児通園施設連絡協議会、全国盲ろう難聴児施設協議会
(平成16年10月29日現在)
内容
1. 主催団体代表挨拶
2. 意見表明
●当事者から
●社会福祉施設整備費について
●障害児施設措置費について
●小規模通所授産施設・福祉工場の運営費について
●障害者就業・生活支援センターの運営費について
3. 激励(国会議員)
4. 緊急アピール文採択

映画『自転車行』上映会迫

か ねてよりお知らせしてまいりました、映画『自転車でいこう』上映会もいよいよ間近に迫ってきました。

「みなさん、予定に入れて頂いてますか？ まだな方は、予定に入れて下さいね！」

一人でも多くの方に観て頂きたいと願っています。是非お越し下さい。

記

自閉症の地域支援を考える県民の集い『自転車でいこう』上映会

上映会 日時：2004年11月26日(金曜日)

場所：やまと郡山城ホール(小ホール)
大和郡山市北郡山町211の3

Tel 0743-5418000

上映時間

第一部 10:00～12:00
第二部 13:30～15:30
第三部 18:30～20:30
(受付 30分前開始)

入場料：無料 各回先着順300名
事前申込不要

問合せ先

金本 074315654

渡邊 07441432392

山上 07431742659

フィルムの都合上字幕がないので、第一部上映のみ手話通訳の方に来て頂いています。

希望の方は、事前に座席を確保致しますので、担当までご連絡下さい。

また、福祉関係団体（障害児・者含む）の方も、座席（車イス席 4席有り）を確保致しますので、担当者までご連絡下さい。

定員を超えた場合は、入場制限をさせて頂く場合もあります。あらかじめご了承願います。

【追記】

上映にあたり、多くの方々に映画宣伝活動のご協力賜りました事を、この場をお借りして、お礼申し上げます。

見学行っ

社会福祉法人 北摂杉の子会
大阪府自閉症・発達障害支援センター
アクトおおさかの見学報告

大阪府高槻市氷室町にあるアクトおおさかの施設見学に10月12日火曜日に療育部役員4名（高橋・山上・渡辺・光野）で行ってきました。センター長の新澤伸子先生が事業内容を分かりやすく、丁寧に説明してくださいました。

事業内容は

- ① 家族等への相談支援事業
- ② 療育支援モデル事業
- ③ 学校教育支援モデル事業
- ④ 就労支援コンサルテーション事業
- ⑤ 地域生活支援コンサルテーション事業

⑥ 余暇支援モデル事業

⑦ 自閉症についての啓発・研修事業

⑧ 連絡協議会の運営 他に自閉症児療育強化事業として松心園での療育待

機児童の療育をアクトおおさかでもされています。この中で②、⑤の事業を重点に職員4名で活動されておられます。参加した4名共に小学生の保護者

なので、③の学校教育支援モデル事業

についての説明に時間をかけていただきました。お聞きしたことを参考にこれから子どもへの支援に役立てたいと思います。

建物の2Fにアクトおおさかの事務所があり、1Fと2Fの残りのスペースには萩の杜の分場の知的障害者通所施設の工房ひむろ南があります。ちょうどお昼の時間でしたので、利用者の方の作業の様子は見れませんでした。施設内を見せていただきました。

陶芸・洗濯・コンテナ洗浄などの作業班に分かれていて、陶芸班は、陶芸店の下請けで今は箸置きを作っていました。洗濯班は病院のおしぼりや白衣などのクリーニングをされていて、この収入が大きいそうです。コンテナ洗浄はCOPのコンテナを洗っています。職員の配置が少ないので、学齢期にしつかりとした、スキルを身につける必要を感じました。

これから機会を作り、いろいろな施設を見ていきたいと思いますので、お助めの施設等、情報をいただけると嬉しいです。
(療育部 光野)

独立行政法人「福祉・医療機構」の助成事業
「障害者助け合いのネットワークを地域に作る事業」

主催：NPOあるふあ

学校でも・地域でも

安心して暮らせるために！

私たちNPOあるふあは、どんなに障害が重い人であっても・生まれ育った地域の中で安心して、そして少しでも豊かな暮らしが出来るようになって欲しいと願っています。

その安心や豊かさは、一人ひとりのがんばりを尊いと思い、共感を持つて支えあう人のつながりがもたらすのではないのでしょうか。

今回私たちは、特別支援教育に関する取り組みで北海道で反響を呼んでおられる、

佐藤満雄先生をお招きして今後の特別支援教育の在り方について皆さんと共に考える機会を企画させていただきました。是非、一度この機会に先生のお話を聞いていただきたくご案内申し上げます。

佐藤満雄氏：プロフィール

北海道真駒内養護学校校長退職後、現在は北海道浅井学園大学生涯学習システム学科教授

著書として「重度重複障害児（者）の感覚運動指導第3巻」1992年コレール社 共著
その他著書多数

◆日時 平成16年11月22日（月）

一部 午前 講演会 10：00～12：00（開演10：30）

二部 午後 研修会 13：00～15：00

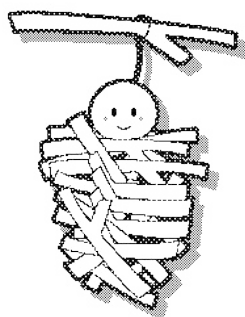
◆場所 榎原文化会館 小ホール近鉄大和八木駅下車徒歩三分

◆問い合わせ NPOあるふぁ事務所
TEL 0744-451-2510

Eメール npoalpa@m4.kcn.ne.jp

※ 申し込み・入場は無料です。

尚 駐車場が御座いませんで、公共機関をご利用の上ご参加ください。



NPOあるふぁクラブでは、次のような活動も行っています。

陶芸教室のお知らせ

ひまわりの家の職員・石井さんを講師に招き、とはいっても場所も「ひまわりの家」で傑作・名作・迷作を目指し、楽しい時間を過ごしましょう。

日時 2004年12月5日（日曜日）
午前10：00～お昼まで

場所 「ひまわりの家」 磯城郡三宅町持ち物 よごれてもいい服・タオルなど

参加費 一人（一人分の材料費・土代）として1,000円

協力金 家族・一ヶ月分 500円

参加申し込み・御問い合わせはNPOあるふぁ

事務所 0744-451-2510

村山携帯 0901-42881

0904

貝谷携帯 0901-88211
8624

ミュージック・エアロビ教室の

お知らせ

あるちゃん くらぶ、第2弾エアロビ教室のお知らせです。

みんな、いい汗かきましよう☆☆☆

日時 11月23日（火曜日・祝）
午後10時～11：30

場所 川西町 ふれあいセンター

磯城郡川西町唐院122

プログラム内容前半 ストレッチ

選曲

ダンス（ミッキーマウスのテーマ ゴリエバージョン）

（ドラえもん・エンディング）

音楽療法

ピアノとフルートでリラックスゼーション

後半 フットネスボールやシートなどを使って音楽の体感

持ち物タオル・運動靴・動きやすい服装・お茶

参加申し込み・御問い合わせはNPOあるふぁ

事務所 0744-451-2510

村山携帯 0901-42881

0904 貝谷携帯 0901

88211-8624

第6回日本自閉症協会顕彰事業

自閉症支援実践賞

作品募集期間延長のお知らせ

（社）日本自閉症協会主催の第6回日本自閉症協会顕彰事業「自閉症支援実践賞」の作品募集期間を延長いたします。障害を持ちながらも、その潜在的な能力を引き出し、生きがいのある魅力的な人生を送っている方がたくさんいると同時に、その方々をサポートしている人々もたくさんいます。自閉症児者の指導・支援に関わっている人たちの実践を広く紹介し、自閉症という障害をもつ人への支援に役立てようと考えます。たくさんのご応募をお待ちしています。

★募集内容

学校・地域・家庭・職場での教育・交流・協力などの実践や、教材教具の研究開発など支援上有効と思われる活動や、絵画・彫刻・陶芸・その他の芸術部門で、優れた作品等を作り出している障害児者（自閉症・発達障害等）を指導・支援している活動の報告を募集します。

★募集期間

平成16年6月1日～平成16年12月31日

E-mail/FD(TEXT)/FAXでの応募も可

★応募資格

自閉症児者の幸せを願う、施設・作業所の福祉援助職員及び教員や地域での援助者と、芸術部門で障害児者に対して指導・支援している者などとして、最低1年以上継続的に指導・支援に取り組んでいる関係者のすべて。

★応募規定

・A4 5枚以上～10枚以内(1ページ40字×30行)

(芸術部門における作品の写真類を含む。字数を超えると選外になります。)

・写真・図表は原稿に貼りつけ

・テキストファイル、word、一太郎で作成

・未発表のもの

提出物

・応募票

応募票のない方は、

①タイトル

②氏名(ふりがな)

③グループ名/代表者名

④郵便番号・住所

⑤電話番号

⑥職業/職種/所属/所在地/電話・

FAX

⑦応募者の略歴を明記したもの

・打出し原稿

・フロッピーディスク

★問い合わせ先・応募先

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-2-8

社団法人日本自閉症協会 顕彰事業係

TEL 03-3232-6478

FAX 03-5273-8438

E-mail: asj@nub.biglobe.ne.jp

★賞

・いとしご賞(療育、教育、福祉部門)

1篇(賞状・賞金 10万円)

・かがやき賞(芸術部門)

1篇(賞状・賞金 10万円)

★発表

平成17年3月、機関紙「いとしご」で発表します。また、社団法人日本自閉症協会第17回総会にて入賞者の皆様へ表彰式を行い、作品発表会を行ないます。

また、芸術部門での受賞作品については、対象となった障害児者の芸術作品等の展示を行ないます。

☆10月31日(日)にJDF(Japan Disability Forum)が設立されました。設立発起人は以下の11団体です。

日本自閉症協会奈良県支部も以前11団体の一つである日本障害者協議会(JDF)に加盟していましたが現在は未加盟です。尚、今後のJDFとの連携については、理事会で検討中です。

(構成団体) 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会・財団法人 全日本ろうあ連盟・社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会・社会福祉法人 日本盲人会連合・日本障害者協議会・特定非営利活動法人 DFI日本会議・財団法人 全国精神障害者家族会連合会・社会福祉法人 全国社会福祉協議会・財団法人 日本障害者リハビリテーション協会・(オブザーバー団体)・全国「精神病」者集団・社会福祉法人 全国ろう者協会

日本障害フォーラム(JDF)は、国際障害者年を契機とした国内における障害者団体の連携による積極的な運動(1981年から障害関係3団体による「国際障害者年推進会議」、1992年は障害関係4団体主催による「国連・障害者の十年最終記念国民会議」、1994年からは

「新・障害者の十年推進会議」、また2000年には障害関係7団体の主催により「アジア太平洋障害者の十年最終記念フォーラム組織委員会」を設置し、2002年には最終年記念フォーラムを成功に導いている)をふまえ、第二次・十年を迎えるにあたり今後の課題に対応していくために、最終年記念フォーラムの主唱団体が、新たな連携を検討するための準備会の設置を提案し、国内の主要な全国レベルの障害者団体と関係団体及び「国際障害者同盟」加盟の国内団体に呼びかけを行い、障害者団体を中心に11団体の賛同を得て昨年10月6日に「日本障害フォーラム(JDF)準備会」を設置し、

連携のための必要な諸条件について検討を進めてきたもので、今後は下記の目的とこれに沿った事業展開が進められるとのことです。

代表は、児玉明氏(日本身体障害者団体連合会会長)、副代表は、安藤豊喜氏(全日本ろうあ連盟理事長)と藤原治氏(全日本手をつなぐ育成会理事長)です。顧問に八代英太議員、板山賢治氏、調一興氏が就任されています。(目的) 国内の障害者団体及びその関係団体は「アジア太平洋障害者の十年

最終年記念フォーラム」の成果を受け、第二次「アジア太平洋障害者の十年」及びわが国の障害者施策を推進するとともに、障害をもつ人の権利を推進することを目的に障害者団体を中心として連携を図る。

(事業) 1. 国連・障害者の権利条約の推進に関すること

2. 第二次「アジア太平洋障害者の十年」の推進及び「アジア太平洋障害フォーラム (APDF)」に関すること

3. わが国の障害者施策の推進に関すること

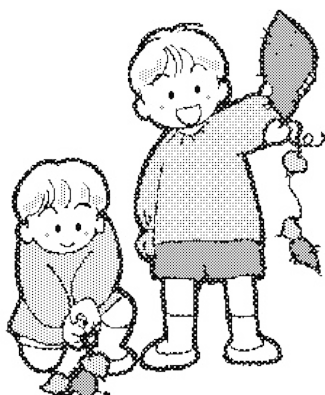
4. 障害を持つ人の差別禁止と権利に係る国内法制度の実現に関すること

5. その他、目的達成のための事業推進に関すること

発起人の団体は、今後は「日本障害フォーラム」としての大きな枠組みの中で、障害当事者団体、家族など支援団体、事業団体及び専門職団体等ごとに分野別の部会を設け、それぞれ固有の課題について協議を進め、日本の障害を持つ人を真に代表する新たな連携組織を目指していくそうです。また、今後は趣旨に賛同する団体の参加と支援の呼びかけを行なう予定。

設立記念セミナーでは、「障害者権利

条約」について外務省の角参事官や政府代表団顧問・NPO代表の東弁護士から国連での審議状況や論点などの報告、八代議員をはじめとする国会議員による「障害者権利条約推進議員連盟 (会長：中山太郎議員、事務局長：八代英太議員)」に向けた活動の紹介などがあつた後、JDFの4つの専門委員会のメンバーによるシンポジウム「障害者権利条約と私たちのこれからの活動」が行なわれました。



事務局から

☆「自転車で行こう」(115分)の映画会を11月26日(金曜日) 奈良県中央善意銀行助成金により行います。やまと郡山城ホール(小ホール) 10時13時30分・18時30分3回上映無料

☆福祉医療機構助成「自閉症スペクトラムへのマルチディシプリナリーな支援事業」高機能自閉症&アスペルガー症候群ネットワーク会議(関西)

日程：12月26日(日)
13:00~16:30

場所：橿原文化会館 会議室

〒634-0005奈良県橿原市北八木町3丁目65-5

対象：高機能自閉症・アスペルガー症候群助成グループ及びそれ以外の活動グループ等

定員：50人(定員になり次第締め切り)

事業主催：日本自閉症協会 申し込み先：日本自閉症協会

E-mail: asj@mub.biglobe.ne.jp

FAX 03-5273-8438

①会場名(関西) ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤所属をご明記の上、メール

Faxで上記までお送りください。

内容：「グループ活動の情報交換と今後に向けた課題」*現在の活動状況と今後の課題(各グループより報告と提案) *ネットワーク化推進に向けての検討。自閉症・発達障害支援センターとの連携状況や誘致状況などについても情報をもとに具体的な意見交換が出来るばと考えられています。

助言者：辻井 正次(中京大学・当事業企画委員) 伊丹 美徳(岡山県支部・当事業企画委員) 事業担当専門家委員：安達潤(北海道教育大学)・井上雅彦(兵庫教育大学)・内山登紀夫(大妻女子大学)・辻井正次(中京大学)・藤岡宏(つばさ発達クリニック)
問い合わせ先：日本自閉症協会
担当：田中 電話 03-3232-6478

☆奈良教育大学主催：「軽度発達障害の理解と特別支援教育」一特別な教育的支援を必要としている子どもたち一会場：〒630-8528奈良市高畑町 奈良教育大学 教育実践総合センター多目的ホール(近畿日本鉄道・JR奈良駅前より奈良交通「市内循環」バス乗車「高畑町」下車)参加対象者：

教員等教育関係者、保護者、一般市民
学生等100名

日時・内容 11月13日(土) 14:00~
17:00

「本公開講座の目的と概要」「学習障害
(LD)の理解と対応―外国のLD教育と
わが国の現状―」

講演 奈良教育大学助教授玉村 公二
彦 先生

11月20日(土) 14:00~17:00

「ADHODの理解と対応―ペアレン
トトレーニング、ソーシャルスキル
トレーニングの方法と効果―」

講演 奈良教育大学教授 岩坂 英巳
先生

11月27日(土) 14:00~17:00

「高機能自閉症の発達の理解と学校や
家庭での対応」

講演 奈良教育大学教授 田辺 正友
先生

12月 4日(土) 14:00~17:00

「これからの特別支援教育と軽度発達
障害」講演

大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学
LDセンター教授 竹田 契「先生

12月23日(木、祭日) 13:00~17:00
教員・保護者・専門家によるシンポジ
ウム 『今後の特別支援教育への期待

と課題』奈良県立教育研究所 上野玲
子先生 奈良教育大学 越野和之先生

広陵北小学校 南浦利美先生 平城
京中学校 小倉智子先生 和歌山県
数本啓子氏

☆アスペルガー症候群の支援講演会
講師 トニー・アドウッド博士 全通
訳付

日時:平成16年11月23日(火・祝)
9:30受付~16:00 受講料1万6千
場所:大阪国際交流センター

お申し込み方法:それいゆHP
<http://www2.saganet.ne.jp/autism/srstoni2004tibaosaka.htm>

★『自閉症スペクトルについて』(自
閉症の子どものクラスルーム・研究科)
兵庫県

平成16年12月12日(日) 13:30~16:
00

こうべ市民福祉交流センター(神戸市
中央区磯上通3-1-32) 藤岡宏氏(つ
ばさ発達クリニック院長)

参加費:一般1000円 研究科会
員無料(年会費4000円)
申込:不要 問合せ:
mr.zuu@nifty.com

<http://homepage1.nifty.com/ken-2/index.html>

○『1月例会』(自閉症の子どもの
クラスルーム・研究科) 兵庫県
平成17年1月9日(日) 13:30~16:
00

こうべ市民福祉交流センター(神戸市
中央区磯上通3-1-32)

坂井聡氏(香川大附属養護学校教諭)
参加費:一般1000円
研究科会員無料(年会費4000円)
申込:不要 問合せ:
mr.zuu@nifty.com

<http://homepage1.nifty.com/ken-2/index.html>

★日本自閉症協会奈良県支部主催自閉
症理解講座
平成17年2月5日(土曜日) 13:30
~16:00

場所:やまと郡山城ホール
講師 坂井聡氏(香川大附属養護学
校教諭)

参加費 無料 問合せ
kawafune@ares.eonet.ne.jp 事務局
詳細後日お知らせします。
★以下2冊が事務局に届いています。
○高機能広汎性発達障害の社会的不適

応とその対応に関する研究 平成15年
度 研究報告書 主任研究者 石井哲
夫

○高機能広汎性発達障害の社会的不適
応とその対応に関する研究 平成16
年度~15年度総合研究報告書 主任研
究者 石井哲夫

【編集後記】台風 号 大

被害 出 舞鶴 台風 上陸

、 日前 行つ

、 作業所 運営

、 建物

今、 作業所 1 違

。 普通 地域 人

。 常 満席状態

。 一流 人引 抜

。 披露宴 行、 団体貸 切

。 他者

。 自 力 展開

。 持続 大切

。 台風23号 中越地震 被災

。 方 見舞 申上

。 支部 ユー

。 意見等

。 最寄

。 支部役員 願